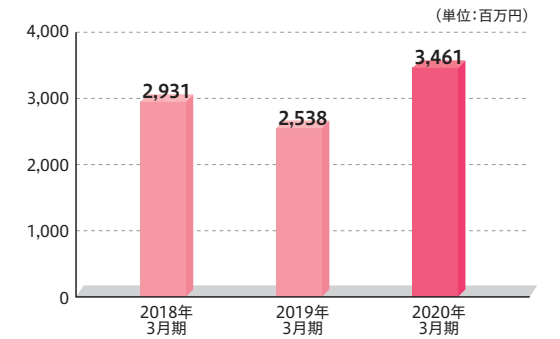


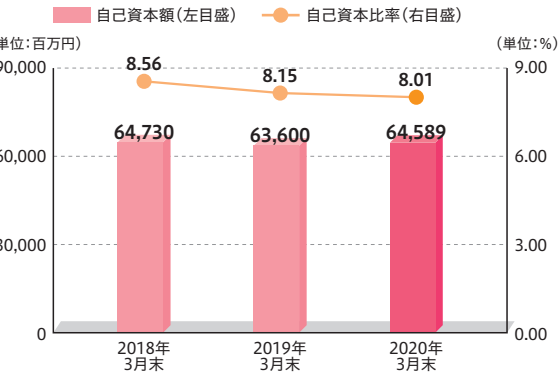
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、経費が前年同期比で8億21百万円減少したことなどから、前年同期比9億23百万円増加の34億61百万円となりました。



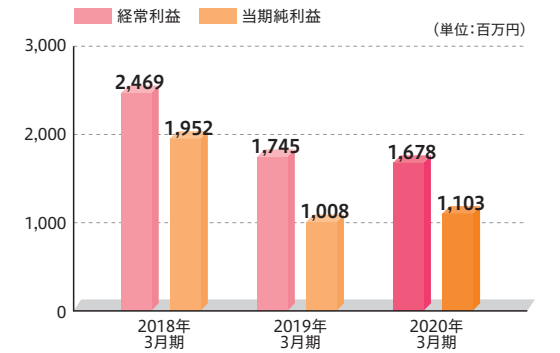
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2019年3月末比0.14ポイント低下の8.01%となりました。



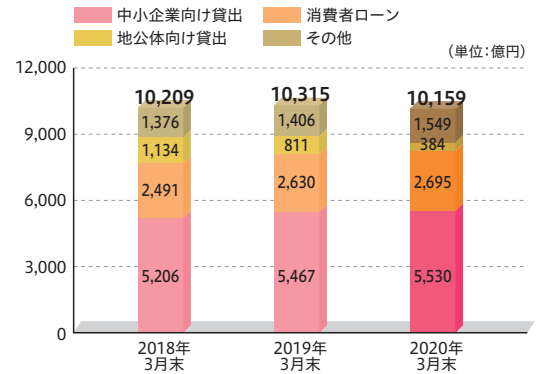
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比67百万円減少の16億78百万円、当期純利益は、前年同期比95百万円増加の11億3百万円となりました。



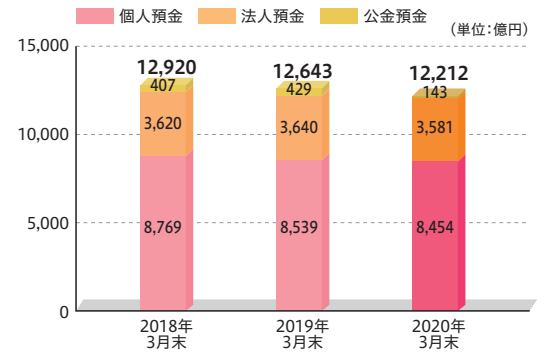
貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したものの、政策的要因により地公体向け貸出が減少したことなどから、2019年3月末比156億34百万円減少の1兆159億21百万円となりました。



預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金が減少するとともに、個人預金において高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどから、2019年3月末比430億25百万円減少の1兆2,212億74百万円となりました。



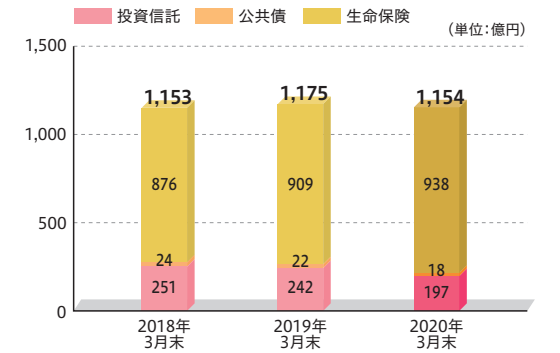
金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、2019年3月末比9億27百万円増加の164億82百万円となりました。

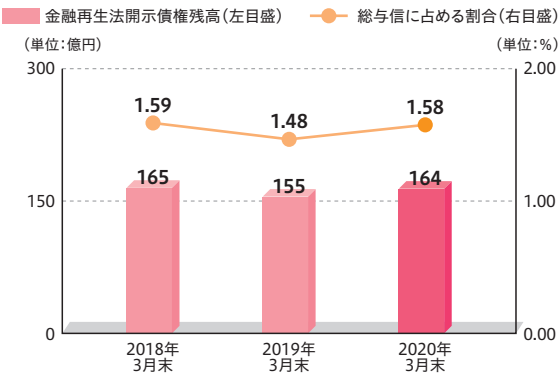
総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.10ポイント上昇し1.58%となりました。

預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したものの、投資信託・公共債が減少したことなどから、2019年3月末比20億80百万円減少の1,154億22百万円となりました。



金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

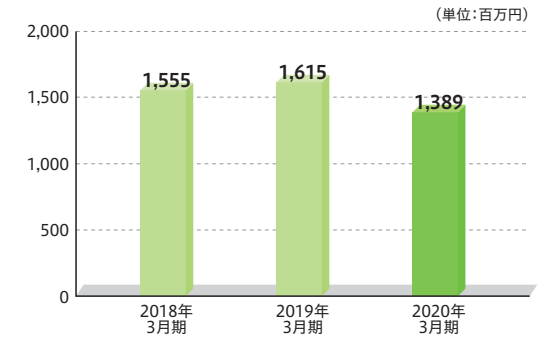
■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

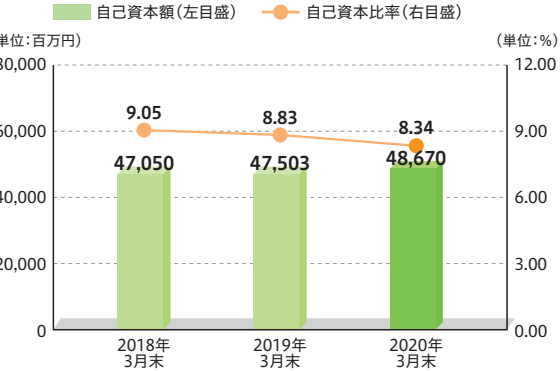
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利が増加したものの、有価証券利息配当金の減少により資金利益が減少したことなどから、前年同期比2億26百万円減少の13億89百万円となりました。



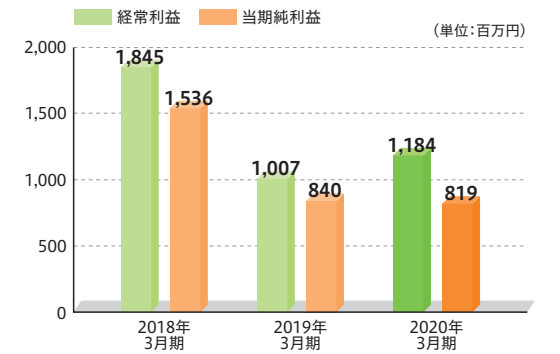
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、当期純利益を8億19百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2019年3月末比0.49ポイント低下の8.34%となりました。



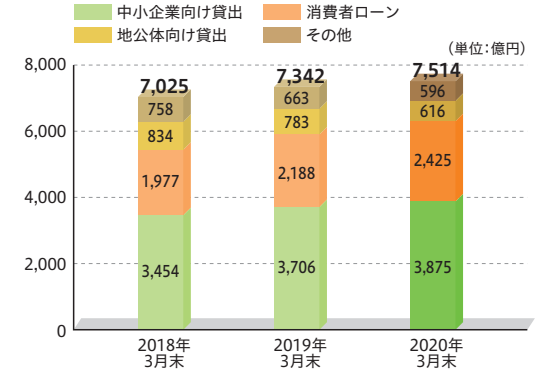
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比1億77百万円増加の11億84百万円、当期純利益は、前年同期比20百万円減少の8億19百万円となりました。



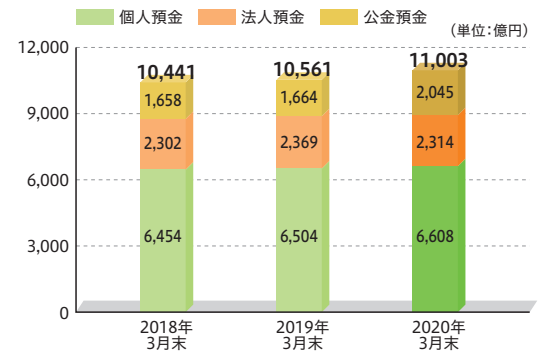
貸出金の状況

貸出金残高は、本業支援を通じたお客さまの資金需要への迅速かつ積極的な対応により中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、2019年3月末比172億9百万円増加の7,514億76百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。



預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金と公金預金が増加したことなどから、2019年3月末比441億58百万円増加の1兆1,003億55百万円となりました。



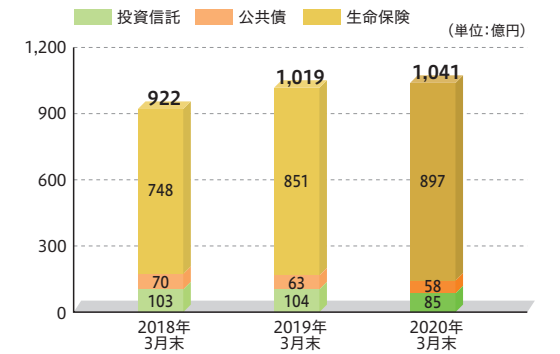
金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2019年3月末比3億54百万円減少の205億48百万円となりました。総与信額に占める割合は、2019年3月末比0.12ポイント低下の2.71%となりました。

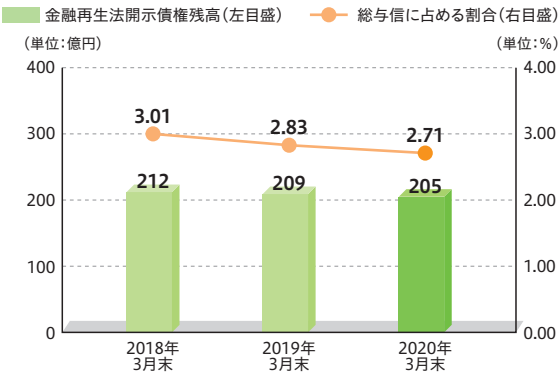


預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により生命保険残高が増加したことなどから、2019年3月末比22億60百万円増加の1,041億90百万円となりました。



金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

■ コア業務純益 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。